

# ProMED-mail情報 2018年 12月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
26日	鳥インフルエンザ (H9N2) 中国	低病原性鳥インフルエンザウイルスA(H9N2)のG1系統はユーラシアの養鶏で蔓延。現在までのヒト感染は全世界で40例。うち今年10月の確定報告は中国からの2例。家禽と接触した10ヶ月女児と鳥接触のない3才男児。2018年は中国から計6例の報告。
19日	熱帯熱マラリア インド	バンガロール科学研究所で、ボンネットモンキー120匹中19匹、アカゲザル15匹中1匹の糞便中とボンネットモンキー肝生検の2検体から遺伝子検査で熱帯熱マラリアがアフリカ以外で初めて検出。サルがヒトマラリア原虫のリザーバーとなり得るかは未確定。
18日	シャーガス病 ブラジル	中央ブラジルのTocantins州にてbacaba(ヤシジュースの一種)を飲んだ同一家族14名の確定報告。ジュース製造農場がある地域全体の疫学調査を実施中。
17日	マラリア 南アフリカ	2007～2016年、年間の平均症例数は7,600。2017年から急増し、本年10月までの症例数は16,000以上（うち死亡例110）。最近では、今まで非汚染地域のWaterberg地方にも感染拡大有り、流行継続中。
15日	ジフテリア フィリピン	ジフテリアは2017年の168例（うち死亡41例）から2018年の147例（うち死亡34例）に減少。しかし、前年の倍以上増えた地方は、ピコル8例、ダバオ6例、ソクサージェン3例、ムスリム・ミンダナオ自治地域12例の4地方。
14日	炭疽 ケニア	ケニア中部の祭り季節には、無認可の処理場や一般家庭で処理された家畜が饗される。未検査の汚染肉を食べて死亡した家族4名の死因は、腸炭疽と推定。今後さらに家畜処理した者から、多数の皮膚炭疽発症が予測される。
11日	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 日本	通常、SFTSは、特定地域のダニ媒介感染症。発症すると重症となりやすいが、無症候例や軽症例も存在。本年8月、宮崎で発症した獣医と獣看護師の感染源は同じネコ。2017年にイヌから感染した世界初の報告も有り。
11日	急性弛緩性脊髄炎 米国	2018年に全米36州で158例確定。隔年の8月～10月に流行。年ごとの流行ウイルスは、コクサッキーA16、エンテロウイルスA71、D68を含め多種類。なぜ隔年流行するか理由は不明。
8日	アフリカ豚コレラ (ASF) 台湾	11月30日高雄国際空港でASFウイルス汚染豚肉ソーセージを摘発。中国から持ち込まれた汚染豚肉から、10月31日以降に三度目のASFウイルス検出。韓国、日本、タイでも同様の輸入検出有り。9月1日から11月25日までの間に、485米ドル罰金を含む動植物検疫違反は265件。うち中国からの検疫は160件。
8日	黄熱 ブラジル	2016年末から2017年6月までの流行期に、主に南東部の州で、778人発症中262人死亡の流行第一波。2017年末から2018年6月までの流行第二波中に、1,376人発症中483人死亡。最大の流行地はサンパウロ州。この3年間の報告数だけで、以前の50年間の数を超えた。2018年7月から11月までの低流行期の報告数は、271人感染疑い、1人死亡。
4日	アデノウイルス感染症 米国	メリーランド大学で、11月初めから学生22名以上が発症し、新入生1名が11月18日に合併症で死亡。CDCは5検体中の4つにヒトアデノウイルスタイプ7を確定。
2日	梅毒 日本	1970年以降最多の年間6,096人登録と国立感染研が発表。流行都市は最多の東京1,548人、次いで大阪1,043人。流行原因は不明。厚生労働省は、感染源の強制報告と避妊具キャンペーンを開始する予定。